

第2回甲斐市総合教育会議議事録

- 1 日 時 平成29年2月14日（火）午後4時
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後4時
- 4 出席者 **【市長】** 保坂武市長
【教育長】 西山豊教育長
【委員】 長田明美職務代理者、新海宏子委員
柳本博美委員、中込正久委員
【説明員】 生山勝教育部長、望月映樹教育総務課長
内藤和彦学校教育課長、保坂江里生涯学習文化課長
梅原剛スポーツ振興課長、剣持豊彦図書館長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 久保欽一教育総務係長、河野晴美教育総務係員
- 7 市長あいさつ
- 8 教育長あいさつ
- 9 議題
 - (1) 平成29年度教育委員会関係当初予算（案）及び主要事業等について
 - (2) その他
- 10 その他
- 11 閉 会 午後5時20分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○市長あいさつ

市 長 みなさん、こんにちは。

大変寒い時期ではありますが、お忙しい中、委員のみなさまにはご出席を賜りましてありがとうございます。

この総合教育会議は、私と教育委員会で意思疎通を図りながら、甲斐市の教育施策の向上を目指して、連携して教育行政を推進するため、平成27年4月1日に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で設置を義務付けられた会議で、今年度2回目となります。

人口もやや増えているという中で、より良い教育をしていく、また、教育がよくできているということは大切なことです。「まちづくりは人づくり」と私も言うておりますが、人が良くあればよその人たちが甲斐市に住んでいただけるということもありますので、そういう意味でも委員のみなさんにも教育、ご指導をいただいているところです。

本日は、平成29年度の教育委員会関係の当初予算案及び主要事業等について議会説明は3月になりますが、あらかじめ案を事務局より説明させていただき、教育課題に対応していきたいと考えています。

○教育長あいさつ

教育長 平成28年度第2回総合教育会議、お疲れ様です。教育委員会側として、ご挨拶させていただきます。

先の2月2日に甲斐市教育協議会と市P連に、10月に頂いた要望書への回答を行いました。双方とも多岐にわたった内容でしたが、普通教室へのエアコンの設置と市単独教員・学校教育支援員の配置についての要望は切実でした。

回答に対する市P連の会長の喜びに満ちた感謝の顔は印象的でした。市長の色々なご尽力に感謝申し上げます。

教育委員会の各課とも1年のまとめの時期として、創甲斐教育の具現に向けがんばっております。

各学校につきましても、ほぼ平穩に教育実践がなされておりますが、教育を取り巻く課題は少なからず見えてきます。学力向上、特別支援教育、生徒指導、不登校・いじめ問題、子どもの貧困化、教師の多忙化など、取り組むべき内容は数多くあります。

これらの課題解決のために、研究指定校をベースに、わかる授業の創造、家庭・地域と連携したコミュニティースクールの拡大、また、授業規律や家庭学習を確立するための取り組みに対しても、小学校・中学校の横と縦の繋がり、中学校から小学校へ授業に出向いたり、小学校同士の連携を密にしたりして、少しずつ成果が見えて来ています。

本日の総合教育会議で、教育についての成果や課題を洗い出し、問題解決に向けての施策や取り組みについて話し合い、より深い教育行政の方向性が見いだせたらと思っております。

よろしく願いいたします。

○議題

(1) 平成 29 年度教育委員会関係当初予算（案）及び主要事業等について

市長 教育委員会関係の当初予算ということで、主要事業の案をあらかじめ委員のみなさんにも報告させていただいていますが、ご意見等をいただいきたいと思っております。説明をさせていただきます。

事務局 (平成 29 年一般会計当初予算（案）及び教育費予算内訳説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

委員 教育総務課の施設係の中で双葉東小の電話機増設に伴いナンバーディスプレイ対応の電話機が入るということですね。ナンバーディスプレイ対応の電話機についてはいくつかの学校から要望が出ていたと思いますが、そちらの対応はどのようなのでしょうか。

事務局 ナンバーディスプレイの対応については、教育団体からの要望書の中

にも、全体的な要望となってあがっております。ただ、経費がかかるものですから、すべての学校にということが出来ないのです。このように機器を新たに交換する時に、対応するという事になります。最近では敷島中学校で、いたずら電話等があった時に変えた経過があるのですが、すべての学校の要望には今のところは答えていない状況です。

順次、電話機を交換する時に対応していくということになります。

委員
事務局
市長
事務局

わかりました。こういうタイミングで変えるということですね。

そうですね。学校からは要望があがっているのは事実です。

いつ変えるということはわからないですか。

機器が古くて故障がちであるとか、機器全体の改修の時に変えるということになります。

委員

ナンバーディスプレイが家庭ではいたずら電話に対応ということがありますが、学校にはクレーム電話はあると思いますが、いたずら電話もたくさんあるのでしょうか。また、ナンバーディスプレイが抑止力になるのでしょうか。

教育長
事務局

学校訪問に行ったときは、校長先生が必要だと言っていましたよね。毎回、要望書にも入ってきます。

全体のシステムを変えなければならないということで、普通の電話機に変えるよりは経費がかかります。

事務局

学校には、保護者からは通知で電話がきますが、非通知でかけてくるような電話は要注意かなと判断できると思います。

子どもとは関係ないのですが、学校にも、職員向けに不動産とかの電話が業務中に多くかかってくる。役所より多くかかってくる。

以前、勤めていたところでは、保護者の金銭トラブル等で消費者金融から親と連絡がとれないということで、半分脅しのような電話がかかってきたということもあります。そういう時には要注意ということで、効果があるかと思っています。

委員

着信拒否ができるということですね。

それが出来るから、ナンバーディスプレイがほしいということですね。

経費の問題となるので、年次計画で設置できればと思います。

吊り天井のことですが、3.11の後、危ないということで撤去になっています。造る時に後でお金がかからないようにすることがこれからは必要ですよ。

事務局 学校の体育館、武道場については、27年度までに文科省による指示があったすべての吊り天井は撤去して躯体直付けということで対応してあります。

今度、竜王武道館をやるのですが、今後、社会体育施設とか、文化施設に移っていくことになります。

委員 その時代の建築工法とかがありますが、後からコストがかからないようにしないといけないですね。

事務局 委員さんがおっしゃるとおり、3.11の前には吊り天井が流行っていてそれで建設したが、3.11で吊り天井が落ちてしまったということで、吊り天井を外せと補助金がついてきたということで、後追いのようになってしまっていますが、お金をかけて造ったものをお金をかけて撤去するという、二重の経費がかかってしまっています。3.11を経験したなかでの文科省の対応というかたちになりました。学校の体育施設の吊り天井の撤去はすべて終わったということで、また、社会体育施設も竜王武道館が終われば終了ということになります。あとは、公民館、敷島・双葉の文化会館の大ホールに対応していくということになります。

委員 双葉中学でLEDの設置がありますがLEDにすれば長持ちするので、昇降式でなく直付けということですね。

電球の付け替えが大変ですよ。

事務局 双葉中学校は昇降式ではなく天井に直付けとなります。

委員 LEDだから長く持ちますが、年に1回でも付け替えるとなると足場を組まなくてはなりません。

市長 竜王小学校の体育館はどうなっていますか。

事務局 天井に直付けですが、昇降式になっています。

委員 平成29,30年の2か年で学校施設長寿命化計画というのがありますが基本的にはどんな調査をするのですか。

事務局 市全体の公共施設の調査を今年度しておりまして、その下の個々の計画になるのですが、学校の現状を調査して、築が古いからというのでは

なく状態をみてということで、16校すべての施設を調査して優先順位を確認するという流れになります。

委員 今後そういう中で、耐震は既にしてあるので、老朽化ということになります。補修が出てくるということになりますね。

事務局 今現在、大規模改修がいくつか控えているのですが、全体的なことを調査していきたいということです。

委員 大規模改修するときに長寿命化への対応も資料として使えるということで調査を2年間するということですよ。

もう一つ考えた時に、既存の施設を減らすという考え方があるかということです。というのは、大きい話になるのですが、例えば3校を1校にするというような、小中の連携でなくて一貫ということへシフトしていくような考え方が片方にあって今の調査をしながら、どちらが将来的に経費がかからないか検討するとか、敷島中、敷島小、敷島北小、敷島南小が一つになるとか、小中一貫をするとか、もっと言うと幼・小・中までの一貫を検討するとか、こちらにシフトする考えがあってもいいのかなと思います。双葉地区はグラウンドや体育館などいろいろな施設がある広場のところにできるのではと考えます。このようなことも調査項目の隅にいられておいてもらえればと思います。

教育長 文科省はそれを推進しています。

塩尻に視察にいった時に、保育園と小学校と中学校で、場所は離れているけれど一貫校でした。

委員 以前に私たちが行ったところは過疎だとか何か事情があるところでやらざるをえないということでしたが、塩尻は人口もあり今から発展していくということを考えればいいかなと感じました。

事務局 今回、平成29.30年で計画をたてます長寿命化の中には、現在のところ小中一貫というものは、大きなテーマなので外れているような状況です。ただ、避けては通れないテーマだとは思いますが。少子化等の背景を踏まえた中での統合等も考えていかなければなりませんので、想定される前から早めに手をつけながら情報等を収集し注意しながらやっていきたいと思っています。

委員 先を読んで取り組んで行かないと人口が減っていく中で、逆に学校が

無くなると地域がつぶれてしまうということもありますからその辺りを踏まえて対応をしないと不満が出てきますよね。

委員

大きく変える時でない、学区を変えられないということもありますから、そうすると適正規模の学校ができるかなと思います。

教育長

小1ギャップとか中1ギャップの解消にもなります。

市長

竜王北小と竜王北中はそういうことはしていないのですか。

教育長

連携はしています。

市長

この長寿命化計画というのは、国で、施設がたくさんあってもつたいないので、なるべく長く使うようにということで、学校みたいなところは40年経ったから建て替えますというようなことでは困る、使えるものは使ってくださいということを言っています。調査の結果、使えないものは補助金を出して建て替えましょうという制度が出来たので、公共施設全部を調査します。学校施設は大切なところだからやりなさい、取り壊さなければならぬところは取り壊し、そういうところには補助金をとということですが、そうすると補助金も足りなくなるのでなるべく使えるものは長く使ってくださいという制度です。この甲斐市の土地の中で、小中学校を集められるような広い土地は無いんですよ。3,000坪の土地が欲しいという企業があっても広いところが無くて、違う市にあるのでそちらへ行ってくれという話になってしまっています。

学校については、みんな近くの学校に行きたいし、子どもの数が減っても学校を失くすわけにもいかないということもあります。

それぞれの学校で、特徴ある教育をしていただいて頑張ってもらいたいと思っています。

敷島小学校の大規模工事は、第2期の工事はどれくらいかかるのですか。

事務局

第2期は少し多くて1億5千万円の予定となっています。

1期よりも2期の方が事業量が少し多いです。

市長

エアコンについても盆地では1番最後になりましたが、入れることになりました。

暑さ寒さの中で体力をつけていく、成長していくということの必要性は感じていますが、そうはいつでも気候が暑い、温暖化ということに

は負けられません。これで、毎年出ていた要望事項が解決していくかなと思います。

委員

外国人講師招致のことをききたいのですが。

事務局

今は、1～4年生が外国語活動ということでALTが入っています。5・6年生が週1時間、外国語の授業をしています。平成32年度完全実施の次期学習指導要領を30年度から前倒しして、3・4年生が週1時間、5・6年生は週2時間外国語という教科になります。これに対して、今、峡中管内で同じ対応ができるよう、増えた2時間をどのようにしていくか、ALTをどんなふうに活用を図っていくか、増員できるのか、或いは今の現員体制でどう授業を組んでいったらいいのかを研究しているところです。

委員

今度は英語の免許を持っている人が授業をしなければならない、今までのような英語遊びではなくて体験ではないですからね。そんな中で中学校の英語教員との人事交流ということも出てくると思います。無免許でということは無くなると思います。専科ということになるわけですよ。

事務局

今のところ教員養成が追いついていかないという状況です。秋田県などは小学校の教員免許に英語を持っている方を優先するということが採用していた時もありました。現状は、英語を教わったことが無い、小学校の専門的な技能を教わったことが無い職員が大半ですので、教えながら研修しているということです。免許というものが無いので、道徳とか特活と同じような考え方で当面はいくしかないと思います。

委員

ALTは教えられるのですか。

事務局

ALTは指導助手なので、主担当は担任になります。

委員

教科担当となると先ほどの免許の問題になるし、ALTに任せるというわけにもいかないということですね。

委員

あくまでもサポートするということですよ。

ということで、英語という教科があっても、今までと変わりなく中学校に上がってきてしまうということになってしまいます。専科というのは小学校がどれだけ大事にしなければならないのか、何でもいいということでは済まなくなってくるような気がします。

教育長 カリキュラムの時間数が増えるのか土曜日を復活するのか、6時間目、7時間目を増やすのか、朝学の15分を昼に持っていくのか、どこも悩んでいるようです。

事務局 ALTの増員が無いということになると30年度からは1,2年生には行かないということになります。また、増えた1コマをどう持っていくか、朝の15分ずつを積み上げて1時間ということになるとALTの派遣は難しいということになります。1コマ増やすというのも月曜、水曜の6時間目、7時間目を作るということになってしまいますが、少なくとも教育事務所単位では同じ対応を取りたいということで計画しているところです。

 いずれにしても早く英語嫌いを作ってしまうと元も子もありません。中学校にはいろいろな小学校から子どもたちが来るので、小学校の格差があると中学校の授業が大変になります。一つの中学校区で同じように学習してきたスタートできるようにというのが大きな課題となっています。

委 員 そこで英語の経験値が個々によって全く違ってきてしまう。学習の経験値も全く違うのと同じです。理解割合がどうかということも出てきますよね。

市 長 保育園にも英語の先生が行っているようで、卒業写真の撮影の際に、子どもたちに赤い羽根を見せて何色と聞くと「レッド」と元気な答えが返ってきました。「英語の先生は誰」と聞くと外国人の名前を教えてくださいました。英語は楽しいということで、小さい時から英語に触れていると、覚えますよね。必要だと感じますよね。

 今年度、あまり事件はなかったですが、SSCはどうですか。

事務局 学校を巡回していただいて、何かあるとすぐに生徒指導と連携しながら対応してくれています。

 500人からの子どもがいますので、いろいろありますが、先生たちもチームで迅速に対応してくれています。

市 長 埋蔵文化財とかを保存しておく資料館が甲斐市にはないので造ってほしいと言われますけど、箱物で経費がかかるので、学校の空き教室を利用したらという声もありますが、子どもも減らず空き教室もないので

大変です。

委員 金の尾遺跡については、登呂遺跡の発見より前に発見されていれば、登呂遺跡に代わるくらいのものだと聞いたことがあります。

市長 山県大弐の書道展は、小学校1年生から6年生まで参加しているということですよ。しっかり字を書くということは必要です。

低学年の子どもたちに字を硬筆で書いて出してもらおうということはいいことだと思います。

スポーツ振興課関係について、25名のスポーツ推進委員がいるということですが、他の市との予算的な比較はありますか。推進委員からいろいろな要望を聞くので、他の市の状況を調べておいてください。

委員 甲斐市に関する新聞記事が少ないような気がします。

市長 そういうこともよく言われるのですが、南アルプス市とか北杜市は多くの町村が合併しているので記事になることも多いということです。

委員 今、中学校の部活動で外部指導者が認められて、教員の負担を少なくしようということですが、その費用というのはどうなるのでしょうか。各学校で賄うのか、市でまとめて賄うのか。

外部指導者として認められれば、今度は付き添いもでき、日当を支払うということも今後検討していかなければならない、予算化しなければいけないということでしょうかね。

事務局 教員の多忙化ということで、部活動の関係の勤務もとても重荷になっているということですが、これは全国的な問題となっていますよね。

委員 ただ責任問題が出てきますよね。よく検討しないとならないです。

事務局 県でもようやくモデルケースをつくってやっていこうという段階です。これを解消しようというのと相当の数がいないとできないです。

委員 今は、報酬が無くて外部指導者としてやっているけど、今度は報酬もあるということで、大変なところもありますね。

市長 今日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

また、時間をいただきまして、質疑、意見交換をしたいと思います。

○その他

事務局 その他ということで、市長、委員のみなさまから何かありますか。よろしいでしょうか。

一 同
事務局
事務局

異議なし

無ければ、望月課長から連絡があります。

次回の総合教育会議ですけど、新年度の学校訪問を終えてから夏頃
に開きたいと思います。よろしくお願ひします。

本日、このあと、意見交換会を予定しておりますので、出席をお願
ひします。

○閉 会
事務局

閉会を宣する。

閉会時間 午後5時20分